



日本クリスチャン・アシュラム連盟

# 日本アシュラム

アシュラムとはスタンレー・ジョーンズ師がインドの退修方式を取り入れて創設されたキリストの新しい祈禱運動である。

開心・静聴・充滿・献身・奉仕

〒165-0027 東京都中野区野方 1-55-1 天門教会内 日本クリスチャン・アシュラム連盟 振替口座 東京 00100-1-4558  
事務局メール・TENMONKYOUKAI70@outlook.jp TEL・03-3385-7491 HP <http://ashram.jp/>

## 恵みによる救い

—クリスチャンの過去・現在・未来—エペソ2:1-10

日本基督教団新宿西教会 アシュラム連盟理事

牧師 深谷春男



私たちの教会では、毎朝、早天祈禱会があり、「アパルルーム」の聖書箇所を読み、黙想し、示されたことを分かち合い、共に祈りつつ、アシュラム集会のような恵みから1日を始めます。これをLINEアプリを使い、毎日、10名前後の集会です。

2024年6月27日の朝もエペソ2:1~10を読みました。その聖書箇所の霊想です。

今日の聖書箇所は、私どもクリスチャンの生涯と信仰を非常によく示しています。ウェスレーもここから、記録されただけでも100回以上説教しているそうです。標準説教52の冒頭もこの説教です。内容は、以下のようです。

- 1、わたしたちの過去：罪と罪過の中の死の状態 — 1-3節
- 2、わたしたちの現在：救いの体験—十字架と復活 4-7節
- 3、わたしたちの未来：神の良き作品として生きる 8-10節

1) 1節 さて、あなたがたは、以前は自分の過ちと罪のために死んでいたのです。(1-3節)

⇒ 過去：死んだ状態—悪しき霊に支配され、この世に倣う生活。

私どもはかつて「自分の過ちと罪のために死んでいた」と表現されています。生きているというのは名ばかりで実は、霊的には死んでいた。パウロはここで、過去の罪の生活を言っています。その背景にはこの世を支配する悪しき霊の存在、サタンの存在を指摘します。自己中心の生涯はやが

て破局を迎えます。生まれながら「神の怒りの対象」でした。

2) 4節 しかし、憐れみ豊かな神は、わたしたちをこの上なく愛してくださり、その愛によって、5節 罪のために死んでいたわたしたちをキリストと共に生かし、—あなたがたの救われたのは恵みによるのです—6節 キリスト・イエスによって共に復活させ、共に天の王座に着かせてくださいました。(4-6節)

⇒ 現在：救いの体験—キリストの十字架と復活の恵みに触れて

4節の「しかし」は重要です。罪の現実があります。「しかし、憐れみ豊かな神は」とパウロは語り始めます。神に目を止めるのです。神様がわたしたどもを、「この上なく愛し、その愛によって」、死んでいた私どもをキリストと共に生かしてくださいました。この4節には「アガペー」が2回使用されます。神の驚くべき愛が、イエス・キリストの十字架と復活という恵みを通して、私どもに現されたのです。

3) 8節 事実、あなたがたは、恵みにより、信仰によって救われました。このことは、自らの力によるのではなく、神の賜物です。・・・10節 なぜなら、私たちは神に造られたものであり、しかも、神が前もって準備してくださった善い業のために、キリスト・イエスにおいて造られたからです。私たちは、その善い業を行って歩むのです。(8、10節)

⇒ 未来：善い業への招き—新創造の神の作品として生きる

ここには大変重要なことが語られます。私どもの生涯は、「恵みにより、信仰によって救われた」というのです。それは私どもの自分の力によるものではありません。それは神の賜物です。神様は私どもを前もって準備して、キリスト・イエスにあって、「善い業をするようにと造られた神の作品」とであるというのです。

## 霊想 三日で建てる神の宮

ヨハネ 2章 13-22節

日本基督教団天門教会 アシュラム連盟事務局

牧師 貴村かたる

「この神殿をこわしたら、わたしは三日のうち、それを起すであろう」と主は語られました(2・19)。これを見た人々は、建築に43年も要したのにそれを3日

で再建するとはどういうことか不思議に思いましたが、その後、イエスが3日目に復活なされたことから、イエスは自分のからだである神殿のことを言われたのだと悟りました。

イエスが世に来られた目的のひとつは、まことの神殿を完成するためです。人の手で作られたエルサレム神殿は、まことの神殿が完成する時までの「模型」です。本物が完成したら模型は不要です。だから、イエスは「この神殿をこわしたら、私はそれを3日後に建てる」と言われたわけです。そして、その「まことの神殿」とはイエスご自身の体のことです。旧約時代の人々は人の手で造った神殿に入って神に会いましたが、新約時代の私たちの信仰は、イエスがキリスト、神が油を注いで遣わされた方でおられるということに聖霊によって知って、信じて、イエスの中に入るバプテスマを受けます。バプテスマとは、イエスの中でイエスとひとつになることです。イエスがキリストでおられるということを知るところに救いといのちがあります。そしてイエスの中で神と出会います。イエスの御名をあがめる者となります。

私たちは聖なる信仰で、神殿となった道理を守り、遠くではなく、いつも近くにおられる父との愛を体験します。その方は父であり、慈しみ深い方です。イエスの中で成される神との出会いのためには、必ず悔い改めの体験が必要です。悔い改めの体験がなければ、いつかはその方を否認するかも知れません。悔い改めは、イエスの中に入る時の最初の体験であり、そのようにしてイエスの中で父を礼拝するようになった者は、父の愛と祝

福を無限に受けるのです。重ねてイエスの「体」が神殿です。では今、その体はどこにありますか。イエスのご自身の体を「キリストの体なる教会」として、地上に残しておかれました(エペソ 1・23)。キリストの体である教会が新約時代の神殿です。私たちクリスチャンが集まるところ……、そこが神の住まわれるところです。「わたしの名で二人または三人が集まるところに、わたしも共にいる」と言われたとおりです。私たちは神に出会うために、どこに行けばいいのでしょうか。エルサレムの神殿に詣でるのですか。行きたくても今はありません。あったとしても、遠くに行きません。そうではなく、キリストの体である教会の中で神と出会うことができます。

信じる者たちが結び合わされた教会が、キリストの体です。その体こそが、イエスが建てようとなされた神殿です。十字架で血を流し、死んで復活してまでして得ようとなされた神殿です。その中に神が住まわれます。その中で、神との出会いがあります。その中でまことの礼拝があります。

イエスは天に昇る前に弟子たちに「あなたたちはエルサレムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。」(使 1:4)といわれました。弟子たちはエルサレムの人ではありませんでしたが、主は彼らにエルサレムを離れてはいけなと命じられました。主の関心は教会を創設するところでありましたし、そのための絶対的な条件は弟子たちがともにいなければならないという点でした。弟子たちは主の願い通りに聖霊を受け、これによって教会となりました。聖霊が臨んで人々の中で働かなければ、教会が成立することはできません。聖霊充滿を受けたのちに初めて福音を伝えることができました。

教会を建てるのは聖霊と御言葉です。神の愛とイエス・キリストの功労が義となって、私たちはその恵みを受けた者です。教会となったのはただイエス・キリストの恵みによってであります。それゆえ、主の体を傷つけないで、主を悲しませないで、ただ主を愛して教会を愛しましょう。教会は、主が自分の血によって買い取られました。それゆえ、主が私たちを愛されたように、私たちも教会を愛しましょう。シャローム

## 第二回牧之原ビジョン教会 一日アシュラム

日本キリスト教団天門教会 信徒 野川洋子

2024 年 2 月 23 日(金祝) 午前 10 時から午後 3 時半まで静岡県牧之原市の牧之原ビジョン教会において第 2 回アシュラムを持ちました。

参加者は 14 名、近隣の教会や遠くは関西からも、そのうち半数以上が初参加でした。

横山勲兄による開心の時。続いて貴村かたる師の【イエスは主である】と力強いメッセージ。一同が教えられました。

祈りの細胞では一人一人がニードを分かち合い、正直に心の内を語り合いました。アシュラムにおいては、この祈りの細胞ほど恵まれる時はありません。信仰の状態や問題はそれぞれに違いますが、互いに祈り合う時に聖霊に満たされます。

午後からも横山兄による静聴の時、貴村かたる師による福音の時(ピリピ 2 章 5~8)からの熱きメッセージに心の内を探られました。

2 回目の祈りの細胞では時間が足りない位に、語り合い、祈り合ってさらに前進する力を与えられました。

充満の時には一人一人に神様の祝福が臨んで下さいました。

私はこのアシュラムを通して、自分の信仰に向き合わされています。初めてお会いした方々と、祈りの友、信仰の友として互いにとりなし合える事に感謝です。聖霊に満ちたアシュラムとなりました。



## 第二回戸畑アシュラム

ウェスレアン・ホーリネス教団 戸畑高峰教会

牧師 塩屋 優子

2024 年 4 月 28 日から 29 日に第 2 回戸畑アシュラムが戸畑高峰教会を会場にして、宿泊は、あさのホテルで、開かれました。ホテルオーナーの奥様は日本キリスト教会の会員です。快いおもてな

しと家庭的な雰囲気の中で安心して泊まることが出来、集中して祈れました。

参加者は、5 教会 11 名でした。助言者は、去年に引き続き塩屋弘牧師です。初参加の方々は、4 名で、長年関東シュラムから参加して下さっている石井兄や九州アシュラム委員長の岡山先生が、祈りの細胞のリーダーをしてください新しい方々も心を開いて参加できたと思います。

福音の時では、マルコによる福音書 1 章 9-11 節の「イエス様の洗礼」と 12-13 節の「荒野の誘惑」の箇所からメッセージでした。

イエスの洗礼の箇所で、マタイに、「これはわたしの愛する子」という神様の言葉が語られている。「これは・・・」といのは人の場合は、誰かに紹介する時の言葉である。神様が、御子イエスを献げる思いはどんなに深い御思いだったのだろうかという黙想をしました。

「荒野の誘惑」では、イエス様は、御霊によって荒野に送られたことを通し、私の荒野はどこだろうか。職場で一人のクリスチャンとして置かれている事、日本という異教社会の中で生きることの中にあるのではないのか。祈りの細胞の聖書箇所第 1 コリント 13 章「最も大いなるものは、愛である」の御言葉より、自分の義が勝つのではない。神様の御愛によって生きる時に「祝福」(祈りの細胞創世記 28 章)を受け継ぐものとさせられていくのだということを信じました。

また、今回の戸畑アシュラムには、20 代の青年 1 名の参加で、彼が「青年たちも集まるのは好きだけど、教会内では少数者となり、なかなか行動につながらない。しかし、今後は主体的に行動していきたいと思う」と語って下さいました。今後は、青年中心のアシュラムを開催しても良いのではないかとこの展望の思いが起こされました。イエスは主なり。



## 第 26 回日本クリスチャン・アシュラム連盟 全国理事会報告

連盟第 26 回全国理事会が 6 月 20～21 日にわたり、山崎製パン総合クリエイションセンター(市川市)で行われました。

北海道、関東、そして九州から 10 名(1 名 zoom で)の参加を得、開会礼拝では横山義孝理事長が I 列王記 18-19 章からエリヤの信仰をメッセージとしてお話しされました。

また夜にはセミナーを開き、「アシュラムをどう発展するか」と 2 名から発題され、幾つかの提案がなされ、今後この運動のために祈る時となりました。

2 日目は静聴の時、ヨハネ 14 章から聖霊が助け主として私たちを導いてくださるとの御言葉から分かち合いをしました。

これより議事に移り、各地のアシュラムの報告、事務局、アシュラム誌発行の現状などについて報告がありました。

また、これから行われる各地アシュラムの予定が示されました。

そしてこの 2 年間に召された理事そして関係諸先生への追悼の時を持ちました。

この後、アシュラム運動の積極的推進に関して参加者の意見を述べ合いました。

その後、横山理事長退任とその他 3 名の理事退任を承認し、新理事長、新理事 4 名を承認就任しました。

今後の連盟の働き、そして各地のアシュラム開催のためにお祈りいただきたくお願いいたします。



## 横山義孝理事長退任と新理事長選任について

2010 年より連盟 4 代目理事長としてご指導いただきました横山義孝<sup>よしなり</sup>師は 97 才というご高齢にもかかわらず、いつも力強い声で「イエスは主なり」と充滿の時の締めを始め理事会、委員会、礼拝での御用をなされました。

このたび新たな理事会構成を導いてくださり、自ら退任をお申し出くださいました。長い間のご指導に感謝し、これからもご健康でお過ごしいただけますようお願いいたします。以下、新理事長のご挨拶です。

## 理事長に選出されて

牧之原ビジョン教会 引退牧師 横山 勲



強くあれ。雄々しくあれ。恐れ  
てはならない。おののいてはなら  
ない。あなたが行くところどこ  
でも、あなたの神、主がともにお  
られるのだから。 ヨシュア記  
1 : 9

アシュラム連盟全国理事会において横山義孝前理事長より「次期理事長に横山勲兄を推薦いたします。」との言葉を受け、何の心備えもない者にとってただ然とたたずむばかりでした。

しかし、主のみ旨とあれば従う以外には道はありません。昨年の関東アシュラムにおいて私のニードは「80 歳になりましたのでモーセに倣い再献身したい。」と発表いたしました。ある方から「再献身しますと言われますが具体的に何をなさるのですか。」と問われましたが、何も答えることが出来ませんでした。

今その道が今見えて来ました。「残る生涯をアシュラム運動の維持発展に献身せよ。」との御声であると信じ従って参る所存です。

与えられている時間がどれ程なのか知る由もありませんがたとえ一期であっても感謝し職務を全うして参りたいと祈っております。

皆様の祈りと支えに期待致しております。

## 編集後記

今年の冬は、コロナとインフルエンザの蔓延で教会の集会等も様々な影響を受けました。今後はアシュラムも通常の集会を開くことができそうです。教会は高齢化が進み、いずれの教団も献身者が少なく、無牧の教会が増えつつあります。各地のアシュラムでは個人の祈りの課題はもちろんのこと、各教会、各教団のために熱い祈りが積み重ねられることを期待しています。また、対面の集会が持てることは感謝なことです。190 字

## アシュラム予告

- 横浜岡村教会アシュラム  
日時・7月13～14日(土～日)
- 東京新生教会アシュラム  
日時・9月8日(日)
- 九州アシュラム  
日時・9月15～16日(日～月祝)
- 第59回関東アシュラム  
日時・9月16～18日(月祝～水)
- 会場・山崎製パン箱根山荘  
助言者・深谷春男師
- 第57回関西アシュラム  
日時・9月23日(月振替祝)
- 会場・大阪クリスチャンセンター  
助言者・柏 明史師
- 天門教会アシュラム  
日時・10月13～14日(日～月祝)
- 函館栄光キリスト教会ミニアシュラム  
日時・10月14日(月祝)
- 浦和別所教会アシュラム  
日時・10月19～20日(土～日)
- そのほか、アシュラムを予定されております教会がありますならば事務局までお知らせください。